

新人研修 (5月)

5月15日(水)新人研修が地下研修ホールで行われ、5S活動や危険予知トレーニング(KYT)、医療ガスの基礎、看護必要度、輸血時の看護、安全なトランスファー(移乗・移動)について学びました。KYTでは、看護行為や病棟環境のイラストをもとに、どこが危険でどうすれば安全かをグループで考えました。グループワークを通じて、危険予知訓練の大切さや人によって感性が違うということを再認識することができました。

Let's KYT



指さし呼称



安全なトランスファー



研修を終えての感想

- ・ 5Sは、仕事の無駄をなくしヒューマンエラーの削減につながるため心がけたい。
- ・ KYTでは、日頃から危険感受性を高めることが必要であることを学んだ。
- ・ トランスファーでは、実際に体験し体の負担がかからない方法を学んだので、病棟でもいかしていききたい。
- ・ 研修内容を意識しながら業務に取り組んでいきたい。
- ・ 患者さんの安全のため何気ない気づきを大切に、思い込みをなくすることが大切であることを学んだ。
- ・ 看護必要度の研修をうけて、わかりやすい記録を心がけようと思った。
- ・ 指さし呼称をすることで、ミスは防げるとわかったので実際に行いたい。
- ・ 酸素ボンベの取り扱い、使用を間違えると事故やけがのもとになるので、日頃から意識して使いたい。
- ・ 輸血では、誤投与しないよう確認する必要性を学んだ。
- ・ グループワークは、交流になるだけでなく、自身の視野を広げるともよい機会となった。

新人研修アンケートより抜粋